

令和4年度 学長と学生との懇談会 要望・提案事項に対する回答

「学長と学生との懇談会」は、学長をはじめとする大学執行部と学生たちが直接意見交換することで、学生の希望や意見を適切に把握し、今後の学生生活支援の更なる充実や学生の意見を大学運営に取り入れ、改善を図ることを目的に毎年開催しているものです。令和4年度は、令和5年2月8日（水）にオンラインで開催しました。今年度は、技大祭実行委員会、学生宿舎入居者、ぴあサポートー、サークルなどで活躍している学生、留学生の10名の学生が参加しました。参加学生から懇談会前に提出していただいた要望・提案事項のうち、時間の関係で懇談会で回答できなかったものについて以下に取りまとめています。

●本学の改善して欲しいところ

学生からの要望・提案	大学側回答
①路上喫煙に対する処置 メールでの通告が度々見られていたが、それでも体育館下の駐車場付近での路上喫煙は後を絶たない。特に降雪・降雨時に運転者の観点から危険を感じる。 これであれば喫煙が許可される特定の場所があったほうが良い（喫煙者の完全な排除ができるとは考えられない）。	以前、学長提案箱へも同様の意見の提案がありました。喫煙者のための施設設置は大学側が喫煙行為を誘発し、補助をしているかのような誤解を招く可能性があり、また、設置するにしてもその費用や維持管理にかかるコストを使用者に求めることが現実的に困難と考えます。 従いまして、将来的に考えても喫煙所の設置はできませんが、受動喫煙が生じないように人通りの多い動線等での喫煙は行わないよう指導の強化や、看板の追加設置をしていきたいと思います。
②何か問題があったとき人によって対応の速度が違うところ、全体で共有してほしい。	問題の内容にもよりますが、複数の課、教員が関係して対応するものもあります。そのような場合は、関係する課、教員等に情報共有を行って対応しています。迅速に対応できるように危機管理に関するマニュアルを制定し、危機管理の担当課、体制、連絡先を明記し、対応しています。
③高専生や新潟付近の地域以外からの認知度が低いこと。旧カリだが、同級生にはほぼ西の人間がない。地元でもあまり大学名を言われてもピンと来る人は少ないように感じる。カリキュラムや普通科・専門高校・高専生の交わる特殊な環境などのアピールポイントがあるので関わらず勿体ないと思う。	高校生向けには、これまで様々なメディアを通じ情報発信、県外の大学説明会への参加や希望があれば志願者のある高校へ出向き出前授業の実施、また、大学を紹介するための刊行物を作成し、郵送する等、様々な手法で広報活動を行ってきました。 以前は、オープンキャンパスと絡めテレビCMを流すことなども行ってきました。特に受験生に対しては「大学案内」や「研究室ガイドブック」で本学の特徴や大学に関する詳細な情報を紹介しています。 また、近年では、本学がどのようなビジョン・戦略を持ち新たな価値の創造と社会基盤の構築を先導していくのか、これまでの取組実績、ガバナンス等をわかりやすく説明するため「統合報告書」を発行し本学を理解してもらう取組みも行っています。 大学HP、ツイッターにおいても本学の魅力を伝え、認知度を上げるための取組を行っています。 今後は新型コロナの影響で参加等ができていなかった県内外の進学説明会に積極的に参加し、また、高校生向けのイベントや校長との懇談会等を企画するなどして、これまで以上に情報発信の強化を行い、本学の魅力や良いところをアピールしていきたい。
④コロナウイルス感染以外でも、ハイブリッド授業にしてほしい。教員側の授業のやりやすさやモチベーションなどの問題もあるが、昨今いろいろな理由で大学に行きづらい人もいるのでそのような人にも柔軟に対応できるようにしてほしい。	コロナウイルス感染症がまだ落ち着きを見せないこともあります。来年度も今年度と同じようにオンラインで授業を提供できる体制をとっていきたいと考えております。しかしながら、昨今、対面での授業（講義、演習、実験・実習）はその後の人間形成や実践的感覚の獲得に大きな影響を及ぼすことが叫ばれており、その重要性について議論がされているかと思います。さらに「本学は技術を先導する教育研究の世界拠点として、イノベーション創出を担う実践的・創造的能力と持続可能な社会の実現に貢献する志を備えた指導的技術者を養成する」ことを理念として掲げています。そのことも踏まえ、大学としては出来る限り対面で授業を行っていく方向で考えているところです。 来年度以降、オンデマンド形式・ハイブリッド形式を含めた遠隔授業に関してその運用方法も含めて整理していく予定であるため、その中で併せて検討させていただきます。

学生からの要望・提案	大学側回答
<p>⑤大学から送られてくる一部メールの内容を確認する際、ライブキャンパスへのアクセスが必要になる場合がある点 Gmailのアプリ内で添付ファイルの確認が可能な場合と、別途ライブキャンパスにログインし、お知らせを確認する必要となる場合がある。可能であれば全てGmailのみで確認ができるように改善していただきたい。</p>	<p>学生の皆さんの必要な情報は、講義棟・福利棟への掲示で行っています（学生生活ガイドブックP35を参照）。LiveCampusによる学内連絡メールは、副次的なものでLiveCampusの掲載情報について通知しているツールになりますので、LiveCampusでの確認を促しています。 よって、LiveCampusによる学内連絡のメール通知では、添付ファイルは添付されません。これは、大量の添付ファイルの送信における他受信サーバやネットワークに負荷がかかるのを避けるための措置になります（受信ユーザは1つのファイルでも、送信されるファイルは、全学生対象で約2000個のファイルになり、受信サーバは大量のファイルを受信することになります）。ご要望のとおり、添付ファイルについては、Google ドライブ等のストレージサービスを利用し、ファイルのリンク先を通知するなどの方法を学生担当部署において整理・検討を行いたいと思います。 なお、掲示情報の見落としのないよう留意いただき、掲示板をご確認いただきたいと思います。</p>
<p>⑥大学から送られてくるメールのフォーマットが統一されすぎていて、重要度が分からず見逃してしまうことがある。 全て似た様式で送られてくるため、メールのタイトルだけで対応が必要なメールか否か判断が困難である。メールを送信した部署名や、「重要」や「要対応」、「広告」などのインデックスをメールに付けて欲しい。</p>	<p>基本的に該当する学生へ通知されているものになりますので、必ず内容は確認してください。しかしながら、学生へメール連絡をする際、わかりやすい内容となるよう、学生担当部署において整理・検討を行いたいと思います。</p>
<p>⑦技大祭の組織を改善すればいいと考えております。</p>	<p>技大祭は、技大祭実行委員会という学生主体の組織となっています。委員会には、会長、副会長をはじめとして、総務局、情報局、企画局、涉外局、財務局、制作局があり、各局には局長がおり、執行部を構成しています。それぞれの局での担当はありますが、執行部が情報共有を行い、実施する内容などを協議しています。技大祭実行委員会に何か提案したいがあれば、直接問い合わせいただくか、学生支援課学生係に相談いただければ、技大祭実行委員会に連絡します。</p>
<p>⑧一部の講義室の椅子が悪い音がする。</p>	<p>そのような場合は、状況を確認のうえ対応しますので、学務課までお知らせください。</p>

●より良い大学にするための提案

学生からの要望・提案	大学側回答
①自由に利用可能なミーティングスペースの設置 やや背の高い椅子に囲まれた2~4人で利用できるミーティングスペースが講義棟あるいは各専攻棟にあると良い。オンラインではできない共同作業等ができる場所として利用したい。 廊下あるいは現状ロッカーがおかれている場所を活用することで24時間利用可能だとさらに良い。	講義棟には1階にEggルームがあり、学生のミーティング等で予約なしで自由に利用することができますので、そちらを活用いただきたいと思います。 廊下やロッカー設置場所をミーティングスペースにすることは、授業中の環境確保の面や、物理的・予算的問題もありますので、現状では考えておりません。 各系の建物ごとにミーティングスペースが設置できれば理想であるが、各系の事情を確認したうえで、有効に活用できるスペースが取れるか検討する必要がある。各系、施設課と確認のうえ検討をしたい。
②高専以外にも学校説明会に行くべきであると思う。また、オンライン説明会はコロナ禍が明けても遠くの地域の受験生のために継続して実施すべきであると思う。	大学進学フェアや合同説明会など、オンライン・対面の開催形式を問わず、例年複数のイベントに参加しており、令和4年度は新潟県の「県内大学等魅力周知事業」の一環として県内高等学校の進学説明会に本学学生を派遣するなど積極的に学校説明会に参加しています。 その他、各高等学校からの依頼に基づいた出前授業を実施しています。 他機関主催のオンライン説明会等についても継続して参加することを計画しています。
③学内で募集するアルバイトを増やすこと 自動車を持たない学生の場合、冬季期間、自転車やバイクでの移動が困難になるためアルバイト先は徒歩圏内に絞られる。そのような住環境の学生は大学も徒歩圏内であることが多いはずである。大学でアルバイトをすることが可能であればそうした移動の制限により就労が困難である学生をサポートできる。 既に図書館事務員やTAと言ったアルバイト先は用意されているが、こうしたアルバイト先は学年によって応募に制限がある場合や、既に働いている学生の紹介だけで採用枠が埋まってしまう場合がある。以上のような理由から学内でのアルバイト先、特に学部1、2年生でも働きやすいアルバイト先の追加を提案する。	過去に本学にて開催した合同企業研究会にて、運営スタッフとして、学生を雇用したことがあります。今後の運営状況によっては、学生にアルバイトをお願いすることもあります。 企業から募集依頼があった学外アルバイト情報もHPに掲載していますが、交通費支給あり、食事提供ありのアルバイトもあることから、雇用数に限りがある学内アルバイトだけでなく、公共交通機関等を利用した学外のアルバイトにも目を向けてみていただきたいと思います。 アルバイト情報については、大学HPの学内専用サイトの「学内限定情報」→「就職関連情報」→「アルバイト情報」から確認することができます。
④周辺環境の利便性強化	本学の周辺地域は長岡市の市街化調整区域となっているため、商業施設の建設が難しくなっています。ご理解ください。
⑤3年生の1学期で日本人学生と知り合いになる可能性がある授業あればいいと思います。	学生同士がコミュニケーションを取れるような授業はあまりありませんが、学内には各種課外活動サークルや同好会がありますので、積極的に参加いただき、国籍問わず学生同士で交流していただきたいと思います。
⑥学生宿舎の駐車場にナンバープレートのない車があるので撤去してほしい。	大学としても撤去したいと考えていますが、所有者が不明であり、撤去ができない状況にあります。撤去については可能な方法があるか、引き続き確認していきたいと思います。